

There is ～. There are ～.について

There is a boy in the room. (少年が部屋の中にいる。)は正しい英文ですが、

There is the boy in the room. (その少年が部屋の中にいる。)は、通常誤りとされます。

The boy is in the room. としないといけません。

There are some books on the desk. (何冊か本が机の上にある。)は、正しい英文ですが、

There are your books on the desk. (君の本が机の上にある。)は、通常誤りとされます。

Your books are on the desk. としないといけません。

つまり、There is ～.There are ～.の構文は、主語が不特定のものの時に用いられるのが原則です。主語が人名など特定のものの時にはふつう用いられません。

なお、「There + (存在・出現などを表す動詞)」は、新しい話題を導入する働きをします。

Once upon a time, there lived an old man and his wife in a village. He was very tall and…….(昔々、ある村におじいさんと彼の奥さんが暮らしていました。おじいさんはとても背が高く、……)

このことから、There is ～.There are ～.の構文の感覚をつかむことが出来るのではないのでしょうか。

(もちろん、以上述べたことは、まず覚えるべき原則であって、状況によっては例外もあります。いろいろな場合について詳しく知りたければ、辞書を開いてじっくり読むのが良いでしょう。)